

最多得票の大高取山山頂で安全祈願

越生10名山指定記念 山の安全祈願ハイキング参加者募集

越生町観光協会では、越生10名山の投票で最も得票数が多かった「大高取山」に登り、越生10名山を始め、越生の山々を歩くハイカーの皆さまの安全を祈願する『越生10名山指定記念山の安全祈願ハイキング』を開催します。ぜひ、山登りを安全に楽しむために、安全祈願ハイキングに参加しませんか。
 実施日 6月26日(日) 雨天の場合は、7月3日(日)に順延。ただし、安全祈願は午後1時30分から実施します。

受付 越生駅西口総合案内所 午前8時～10時(順次スタート)

祈願の場所 大高取山

時間 安全祈願と修祓(お祓い)

Aグループ 50名 午前11時～11時20分

修祓(お祓い)

Bグループ 50名 午前11時25分～

Cグループ 50名 午前11時30分～

Dグループ 50名 午前11時35分～

Eグループ 50名 午前11時40分～

Fグループ 50名 午前11時45分～

安全祈願終了後、記念品を受け取って解散(大高取山から自由行動)

申込み 6月20日(月)までに参加費を添えて④に申込書を提出

定員 300名(申込順)

参加費 500円(記念品代など)

記念品 『山の安全 越生10名山安全祈願ハイキング』の名入り祈願木札(お守り)を進呈。欠席の場合は、6月27日(月)以降に観光協会事務所でお渡しします。雨天延期の場合は、7月4日(月)以降にお渡しします。

その他 飲食物などは各自でご用意ください。主催者では、傷害保険には加入しません。

④越生町観光協会 ☎292-1451



▲祈願木札(お守り)

町勢要覧ができるまで

～町勢要覧作成秘話～

今回、町勢要覧を作成した地域おこし協力隊の永島さんに、意識した事等伺いました。その時の取材内容をご紹介します。



●今回のコンセプトは、冊子のタイトルにもなっている「わたしがつなぐ、越生町」です。このコンセプトにした背景や、制作で意識したことはありますか？

永島さん(以下「永」)

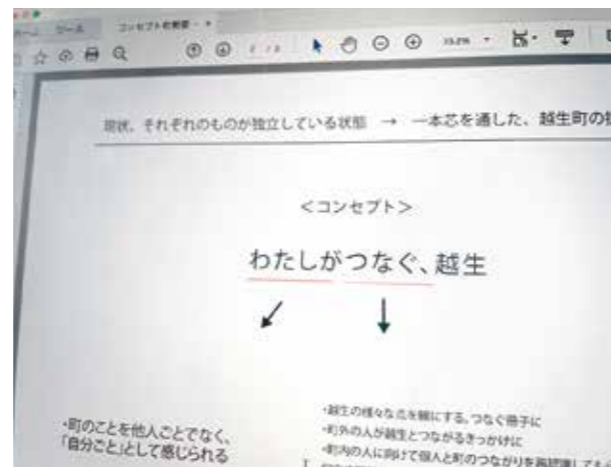
冊子制作にあたり、町の中の様々な要素をつなぐ=点を線にして越生だけの物語を作ることを一つの課題にしました。様々な魅力の一つ一つ繋いでいったとき、つまり越生町は今を生きるみんなにとって、どんな場所なのか。またこの場所で、資源を活かしてこれからどんな夢を描けるだろうか。冊子づくりをきっかけに、それを少しでも、炙り出せればという思いがありました。

そのために、今までの冊子ではあまり書かれることのない視点を入れ込み、複合的なストーリーづくりに挑戦しました。



●具体的にどういった手法は？

永) 例えば、「梅の里」というテーマがありますが、観光地として越生梅林があり、産業として梅の生産量が高いことだけが、その魅力ではないと考えました。なぜならこのまちには、「梅の里」で生活する、一万人の暮らしがあるからです。生産者がどんな思いで梅を育てているか。子どもたちはどのように梅と触れ合い育っていくか。人々の暮らしの中で梅はどのように活かされ、楽しられているか。どうして梅の花が咲くと人は集まり、花を愛でるのだろうか。そういった「人と梅」の関わりを描くことで、「梅の里」という風土がもつ多様な魅力に迫ろうとしました。モノやコトを取り巻く、複合的なストーリーがあって、町独自のカルチャーであり、宝ではないかと思うのです。そのため冊子全体においても、人との関わりを表現する言葉を意識して使い、人が主役になるような写真を多く使っています。



▲コンセプトの決定、作成画面

●町勢要覧と地域活性について

永) この冊子は、町内のみならず、町外の方が越生町の魅力に気づききっかけになってほしいと考えました。しかしまずは、住んでいる人々がなんでもいので何か一つでも、誇りに思うこと。そしてそれを、誰かに伝えられることが大事だと感じています。なぜならその思いに共感した方こそ、この町に集まってくるからです。

冊子の冒頭で「万人の花咲いて、時代をつなぐ、わたしがつなぐ」というメッセージがあります。みなさんが頭の片隅にでも「わたしがつなぐ」という思いをもって生活して下さったら、少しずつ町は進化していくかもしれない。そんな期待を込めています。



▲梅の里、梅のページ

④(社)越生町観光協会

☎292-1451

◆入選(十名)◆

- 梅東風や坂東武者の関の声 (小津節子/飯能市)
- 白梅を囁し立てたる群雀 (新井竜才/ふじみ野市)
- 紅梅や嫁ぐ娘の薄化粧 (洋提琴/練馬区)
- 梅古木朽ちし幹より咲く一枝 (藤島知枝子/越生町)
- 遠い日へ誘う香り梅一輪 (金朝子/東松山市)
- はらかなの杖つき揃ふ梅見かな (坂上隆/上尾市)
- 梅の香をまどひ地蔵のうつつ顔 (丸益甫/坂戸市)
- 狛犬も杉も阿吽の梅社 (浜田はるみ/川越市)
- 風化せる羅漢に梅の香満つ (関口幹雄/川越市)
- 山里の真白き浄土梅の花 (中島孝允/鳩山町)

◆佳作(三名)◆

- 探梅の幼稚園児と乗り合わず (高篠勇夫/鶴ヶ島市)
- 純白の春告草の立ち姿 (藤原正宜/加須市)
- 春の香を今日も集めし投句箱 (大西資生/千葉市川市)

◆秀逸賞(一名)◆

- 春風の青き透かしぬ越辺川 (五十嵐秀山/大田区)

◆大賞(一名)◆

- 梅東風につられ卒寿の一人旅 (しずを/さいたま市)

令和四年越生梅林梅まつり投句入賞作品
 令和四年の投句は、お題を「越生の春」として、二月十一日から三月二十一日まで梅林内に投句箱を設置して募集しました。四月二十九日の選考会で、応募作品四百十三句から入賞作品十五点が決定しました。令和五年越生梅林梅まつりでも投句募集を実施する予定ですので、ぜひご参加ください。